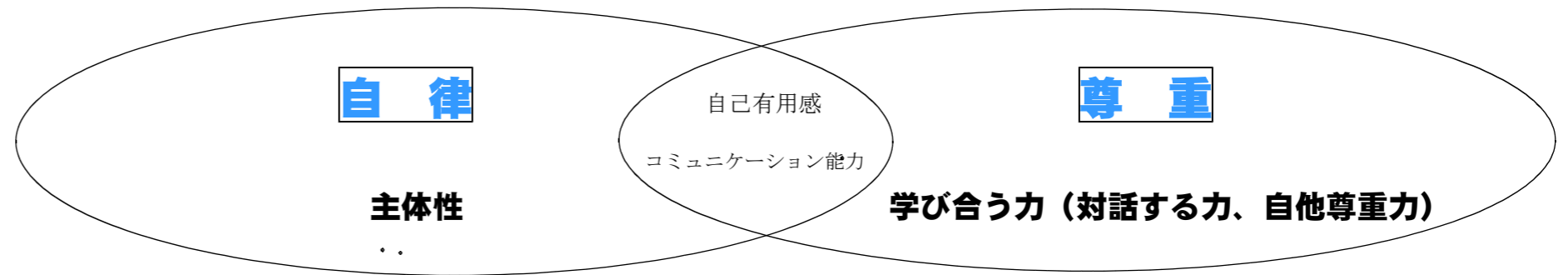




育成を目指す資質・能力



重点目標：知
人の話を聞いて受けとめ、
自分の思いや考えを伝える子

重点目標：徳
どうすればよいかよく考え、
誰もが心地よい人間関係を築く子

重点目標：体
安全で健康な生活のための知識を活かし、
自分のめあてに向かって取り組む子

各教科・総合的な学習の時間

<具体的な方策>

- 「主体的で対話のある授業」の実践。
- 「新潟学びチャレンジ」の実施。
- 家庭学習強調週間の設定やカードの工夫。
- 「しばたの心継承プロジェクト」の実施。
- 発表力・表現力を育てるための学習発表会の実施。

<目標とする成果>

①国語・算数の市販テストにおいて、学期ごと全単元の平均点を上回る児童を70%以上にする。(R6)

②授業に主体的に参加し、学びを深める児童の割合を80%以上にする。(R6)

道徳・特別活動・生活指導

<具体的な方策>

- スキル教育(SSE)の充実。
- ピアサポート・プログラムに基づく桜っ子グループ活動の実施。
- 人権教育、同和教育の視点に立った道徳授業の実施と公開。
- いじめ把握アンケートや教育相談、情報交換会等を活用した子どもの理解。

<目標とする成果>

①あいさつの「じぶんのめあて」が達成できる児童を90%以上にする。(R6)

②自分も相手も大切にしていることができた児童を90%以上にする。(R6)

体育・健康教育・食育

<具体的な方策>

- 運動の楽しさを十分に味わわせる授業の工夫
- 「食とみどりの新発田っ子プラン」に基づいた「食に関する指導」「体験的な学習」の継続と充実。
- パワーアップ週間前の、生活習慣改善の事前指導の実施。

<目標とする成果>

①児童アンケートをとり、「体育の学習や休み時間に進んで体を動かしましたか」に「進んで動かした」と答える児童の割合を80%以上にする。(R6)

②パワーアップ週間(1週間)で、メディア時間を平日2時間以内、休日は自分が決めた時間を75%以上の児童が守ることができる。(R6)

家庭・地域との連携

- PTCA活動・地域ボランティアを基盤にした連携強化。
- 加治川地域に根差した特色ある学校づくりの推進。

学級経営・学年(学年部)経営の充実

- 自律と尊重を基盤にした学び合い・高め合う学年集団の育成。

教職員の協働

- 校内研修の充実による指導力と専門性の向上。
- 創意と工夫をもった教育活動の力強い展開。

人権教育、同和教育

特別支援教育

子どもの願い

- ・「友達と仲良くしたい。」「一生懸命学習したい。」

保護者・地域の願い

- ・自分の思いや考えを話せる子になってほしい。
- ・楽しく学習し、学校生活を送ってほしい。

教職員の願い

- ・お互いの考えを認め合い「対話する力」をもっと育てたい。
- ・自分も相手も大切にしている力を付けたい。

教育課題

- 自分で考えて豊かな人間関係づくりができるようにする。
- 子どもが主体的に学び、共に学び合うようにする。
- どの子どもにも基礎・基本を定着させ、学力を向上させる。
- 知識の活用、めあての設定により、よりよい生活習慣を身に付け、体力を向上させる。

市民の願い「道学共創」

ひとが第一、ひとが大事、新発田の教育
<目指す子どもの姿>
新発田への愛着と誇りをもち、
夢や希望に向かって、学び続ける子ども